

容易出错的日语表现四 PDF转换可能丢失图片或格式，建议
阅读原文

https://www.100test.com/kao_ti2020/146/2021_2022__E5_AE_B9_E6_98_93_E5_87_BA_E9_c105_146397.htm

「ために」と「ように」「早く着くために特急にった」は言えるのに、「早く着くために速で出した」はおかしく、「早く着くように速で出した」と言わなければなりません。目的の意味を表すとき、いつでもタメニが使えるわけではないようです。

「早く治るために休んだ」「うまく踊れるためにする」などもちょっとです。これらの文ではタメニの代わりにヨウニを使えばいいのですが、さて、タメニとヨウニはどうなのでしょう。まず、タメニが使えるのは、しよう（しまい）と違ってできる作のときです。「おを沸かすためにヤカンに水を入れた」「を止めるために左に寄せた」などでは（果はさておき）「沸かそう」「止めよう」と思って作をしています。否定の合も「迷惑をかけないためにっている」は「迷惑をかけまい」という意志をもった行と言えます。逆に、他人の作や自然界の果などは、自分の意志で左右するのがしいので、タメニを使うことができません。「彼女が立派な人になるために指する」「早く雪が融けるために土をまく」が少しおかしいのはこのためです。一方、ヨウニは、しようという意志となく、ある果や状になることを目指すとき使います。「十分に合うように六に出た」「寝やすいように枕をかえた」など。また、可能も状の一と考えられますから、「旅行できるように金する」など可能表にはヨウニを付けます。以上をにまとめると、タメニは

「～する」という意志を伴う目的を表し、ヨウニは「～なる」という果を越した目的を表す、ということになります。それにしてもさらに言えば、ここでの「～する」と「～なる」のいは、日本の的な表を行うのにとっても重要です。例えば「天井に手が届く」「ブーツに足がはいる」などは、可能の意味をめたいからといって、「天井に手が届ける」「ブーツに足がはいれる」と言うことができません。これらは「～なる」という果の事を表しているため、可能の形にしないのです。可能の形にできるのは「～する」という意志を伴う事するときなのです。意志性のあるなしは、タメニとヨウニだけでなく、日本の他のさまざまな表にもわりがあるようです。100Test 下载频道开通，各类考试题目直接下载。详细请访问 www.100test.com